

第3学年 社会科学学習指導案

1. 小単元名

「店ではたらく人と仕事」（教育出版 小学社会3年）

2. 小単元設定の理由

(1) 教材観

本小単元は、買い物調べやスーパーマーケットの見学を通して自分たちの消費生活に関心を持ち、消費者のニーズに応えようと努力している店の販売の工夫をまとめたり、よりよい消費生活や国内諸地域や外国とのつながりについて考えたりすることをねらいとしている。私達の身の回りには日常生活に必要な品物を販売する商店がたくさんある。その中でも生活の中心となるのはスーパーマーケットである。コンビニや小売店、インターネットなど買い物の手段は多くある中で、毎日の食料品を購入するスーパーマーケットは、なくてはならない存在である。最近スーパーマーケットそれぞれで差別化を図るため、農家と契約して新鮮さや安全性を全面に出した産直野菜のコーナーを設けたり、ポイント5倍デーを設定したりするなど様々な販売の工夫をしている。このような販売の工夫を調べたり知ったりすることは、自分たちの消費生活を見つめ直していくことに役立つと考える。

本小単元ではまず、1週間にわたって買い物調べをすることで学習に入りたい。調べた結果から家の人の買い物の様子について予想したり、買い物の仕方を自分たちのこととして考えたりする学習も取り入れていきたい。そうすることで、自分たちの生活と学習内容を重ね合わせながら学習に取り組むことができるであろうと考えている。

(2) 児童観

本学級の児童は、明るく活動的で、その素直さは学習面でこそよく感じられる。自分が理解できたことについては、ほとんどの児童が自分の考えをみんなに伝えたいと積極的に挙手することができている。児童は、昨年度からの新型コロナウイルス感染予防のため、見学して調べたりインタビューして調べたりする活動の経験が少なく、教科書や図鑑などの文献から学ぶことを続けてきた。しかし、人との新しい出会いに対して、ほとんどの児童が積極的で、このような制限された状況下においても、いつかはできるであろう見学やインタビューを楽しみにしている。

一方で、自分の町のお気に入りの場所を紹介するワークシートを作成した際には、ほとんどの児童が自分の家と小学校を描くなど、児童の視野の狭さを感じた。これには、児童が1年生の終わり頃から新型コロナウイルス感染予防のため地域の人たちとの関わりを制限されたり、自粛生活をしたりする中で、自宅と小学校の往復だけになってしまった背景があると考えられる。体験を待ち望む本学級の児童に、可能な範囲で体験させたり、教材の提供の工夫をしたりしながら、身近な地域について学習する良さについて感じさせていけたらと思っている。

(3) 指導観

本小単元では、児童の生活に身近なスーパーマーケットという素材を通して、グループで話し合う活動を取り入れたり、買い物調べなどの調べ活動、疑似見学、実際に土日を利用し消費者として買い物をしてみるなどの体験活動も多く取り入れたりすることによって、消費者側からの見方や考え方、あるいは消費者のニーズに応えるためのスーパーマーケットの工夫やそこで働いている人々の思いや願いについて迫っていきたいと考えている。

本時においての課題を追究する姿とは、買い物調べの結果を話し合うことを通して、よく利用する店の工夫に気づき、なぜ家の人がある店によく買い物に行くのか、自分なりの考えをもつ姿であると考えている。

そこでまず、調べ活動の結果を発表し合うことで様々な店があることに気付かせる。そのうえで家の人や買い物の体験談を話し合ったり、よく利用する店を確認し合ったりすることで、なぜ家の人達はその店によく買い物に行くのか、他店とはどこが違うのかについて、考えを深めさせていきたいと考えている。

3. 小単元の目標

○地域に見られる販売の仕事の様子について、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動や地図帳などの資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 [知識・技能]

○販売に見られる仕事の工夫や特色、意味を考える力や、考えたことを表現する力を養う。 [思考・判断・表現]

○学習問題を追究・解決するために、地域に見られる販売の仕事の様子について意欲的に調べ、特色や相互の関連、意味について粘り強く考えたり、調べたことや考えたことを表現しようとしたりする主体的な学習態度を養う。 [主体的に学習に取り組む態度]

4. 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、販売に携わっている人々の様子を理解している。 ・調べたことを白地図や関係図などにまとめ、販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解している。	・消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、問いを見だし、販売に携わっている人々の仕事の様子について考え表現している。 ・消費者の願い、販売の仕方を比較・関連付けたり、わかったことを総合するなどして販売に携わっている人々の仕事に見られる工夫を考えたり、学習したことをもとに社会への関わり方を選択・判断したりして、適切に表現している。	・地域に見られる販売の仕事について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

5. 小単元の指導計画（全 1 1 時間）

	本時のねらい	○主な学習活動／◆指導内容	評価規準/評価方法
つかむ	① 家の人の買い物に関心をもち、行った店や買った品物などを調べて、カードにまとめる計画を立てることができる。	○自分の家庭の買い物経験を振り返って話し合う。 ◆町にある店について地図で確かめ、自分たちの買い物調べの方法について計画を立てる。 ○疑問や知りたいことをノートに書く。	【思判表】 家の人が行く店や買う商品について調べて、カードにまとめる計画を立てている。(発)
	② 買い物調べカードを集計し、店の位置や行った回数に着目して、店の分布や多くの人が行った店を捉え、その意味を表現できるようにする。 (本時 2/11)	○買い物調べの成果を発表し、お店のある場所や調べた人の人数を、グラフにまとめ、気づいたことを話し合う。 ◆人が多く通る場所に店が多かったり、多くの人スーパーマーケットに買い物に行ったりしていることに気付くようにする。	【思判表】 買い物調べカードの集計をもとに、グラフに表し、その意味を表現している。(発)
	③ レシートに着目し、買い物の情報や店が売り上げを高める工夫を捉え、学習問題をつくることができるようにする。	○レシートを調べ、店が売り上げを高める工夫について話し合い、学習問題をつくる。 ◆店の売り上げを高める工夫をもとに、学習問題をつくる。	【思判表】 レシートの情報から、店が売り上げを高める工夫について話し合い、学習問題をつくらせている。(発)(ノ)
学習問題 店ではたらく人たちは、お客さんによるこんで買ってもらえるように、どのようにふうをして売り上げを高めているのだろう。			
調べる	④⑤ スーパーマーケットの売り場の様子に着目して、さまざまな工夫とその目的を捉える。	○スーパーマーケットを動画や写真で疑似見学し、売り場の様子の工夫について調べ、わかったことをカードに書く。 ◆スーパーマーケットでは、店の売り上げを高めるために、値段・品ぞろえ・新鮮さ・便利さなどの工夫をしていることに気付くようにする。	【知技】 事前に決めた視点ごとに売り場の様子を観察して、必要な情報を集めている。(行)(ノ)
	⑥⑦ スーパーマーケットで働く人にインタビューして、仕事の様子や気をつけていることを捉える。	○スーパーマーケットで働く人たちが、それぞれどのような工夫をして仕事をしてたかを調べる。 ◆スーパーマーケットには、さまざまな仕事があり、それぞれ工夫をしたり協力したりしながら働く人がいることを理解できるようにする。	【知技】 店には、販売の他にさまざまな仕事で働く人がいることを理解している。(発)(ノ)

	<p>⑧ 商品の仕入れ先に着目し、それらが国内や外国にわたることを白地図にまとめて、他地域と広く関わっていることを捉える。</p>	<p>○スーパーマーケットの商品の産地を調べ、白地図に位置付け整理する。 ◆商品の産地や仕入れ先を通じて、国内の他地域や外国と関わりがあること。</p>	<p>【知技】 店は商品の仕入れを通じて、国内外の他地域と関わっていることを理解している。(発)</p>
まとめる	<p>⑨ 客や家の人の買い物の仕方に着目し、商品を買う時の願いを捉え、それらに店は対応していることを整理・分析できるようにする。</p>	<p>○客や家の人、が、買い物で気をつけていることを調べ、それについて店はどのように対応しているのか整理する。 ◆客が買い物で気をつけていることに対応して、店では工夫して仕事をしていること。</p>	<p>【知技】 消費者にはさまざまな関心があり、販売者はそれらに対応していることを考え、両者の関わりを整理・分類している。(発) (ノ)</p>
	<p>⑩ 店の仕事は客の願いを踏まえて売り上げを高めるよう工夫していることについて、関係図づくりを通じて考え、表現することができるようにする。</p>	<p>○客の願いと店の工夫との関係をまとめ、気がついたことを発表する。 ◆店は客の願いに合わせた工夫や仕事をするこで、売り上げを高めようとしていることに気付くようにする。</p>	<p>【思判表】 客の願いと店の工夫を関連付けて、関係図に表現している。(発) (ノ) 【態】 これまでの学び方をふり返り、これからの学習に生かそうとしている。(発) (ノ)</p>
つなげる	<p>⑪ スーパーマーケット以外の店や買い物の仕方に着目し、それぞれの利点を捉え、よりよい消費行動について意識をもてるようにする。</p>	<p>○スーパーマーケット以外の店や買い物の方法を調べ、さまざまな方法がある理由を考え、話し合う。 ◆スーパーマーケット以外の店や買い物の方法にも、それぞれの利点があり、それに合わせて客は買い物をしていること。</p>	<p>【態】 スーパーマーケット以外の店や販売方法について調べ、今後の買い物行動に生かそうとしている。(発) (ノ)</p>

6. 本時（第2時／全11時間）

(1) ねらい 買い物調べカードを集計し、店の位置や行った回数に着目して、店の分布や多くの人が行った店を捉え、その意味を表現することができる。

(2) 展開

	学習活動	指導上の留意点	学習活動における具体的評価規準〔評価方法〕
つかむ 7分	1 調べてきたことを発表し、学習問題をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの家の買い物調べを通して気付いたことを発表できるようにする。 ・事前に記述しているワークシートの気付きの内容を把握し、意図的に指名する。 	
	家の人たちはどこに行き、買い物をすることが多いのか、まとめよう。		
追究する 30分	2 調べてきたことをGoogleFormsで、アンケート送信をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・各家庭の買い物状況について「〇〇〇へは何回いきましたか」などの回答をチェック形式で行い、支援を要する児童も簡単に送信できるようにする。 	
	3 買い物調べをまとめる。 (1)学級での買い物の様子をグラフにまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・2で送信したアンケート結果をもとに教師用タブレットでアンケート結果をグラフとして、前に表示する。 ・グラフで表すことで、データが分かりやすくなることに気付くようにする。 	
	(2)トリオ（3人組）で話し合いをする。 (3)気づいたことを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフから気づいたことを話し合い、スーパーマーケットが多いことに着目できるようにし、その理由を予想できるようにする。 ・グループごとに発表し、それぞれの考えや予想を共有し、次時につなげる。 	<p>買い物調べカードを集計し、店の位置や行った回数に着目して、店の分布や多くの人が行った店を捉え、その意味を表現しようとしている。</p> <p>〔態度〕</p>
8分 まとめる	4 本時をふり返り、まとめる。	めあてに沿った振り返りが書けるようにする。	

(3) 評価及び指導の例

「十分満足できる」と判断される状況	買い物調べカードを集計し、店の位置や行った回数に着目して、自らその意味を表現し、友だちの考えを聞き、自らの考えを深めることができている。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	集計したグラフをもとに考えがまとまらない児童には、自身の買い物調べの情報がグラフの中に具体的に位置付いていることを確認することにより、その理由を「値段」「品質」「立地」の3択から考えられるよう声かけをする。